



城 崎

小中一貫教育便り

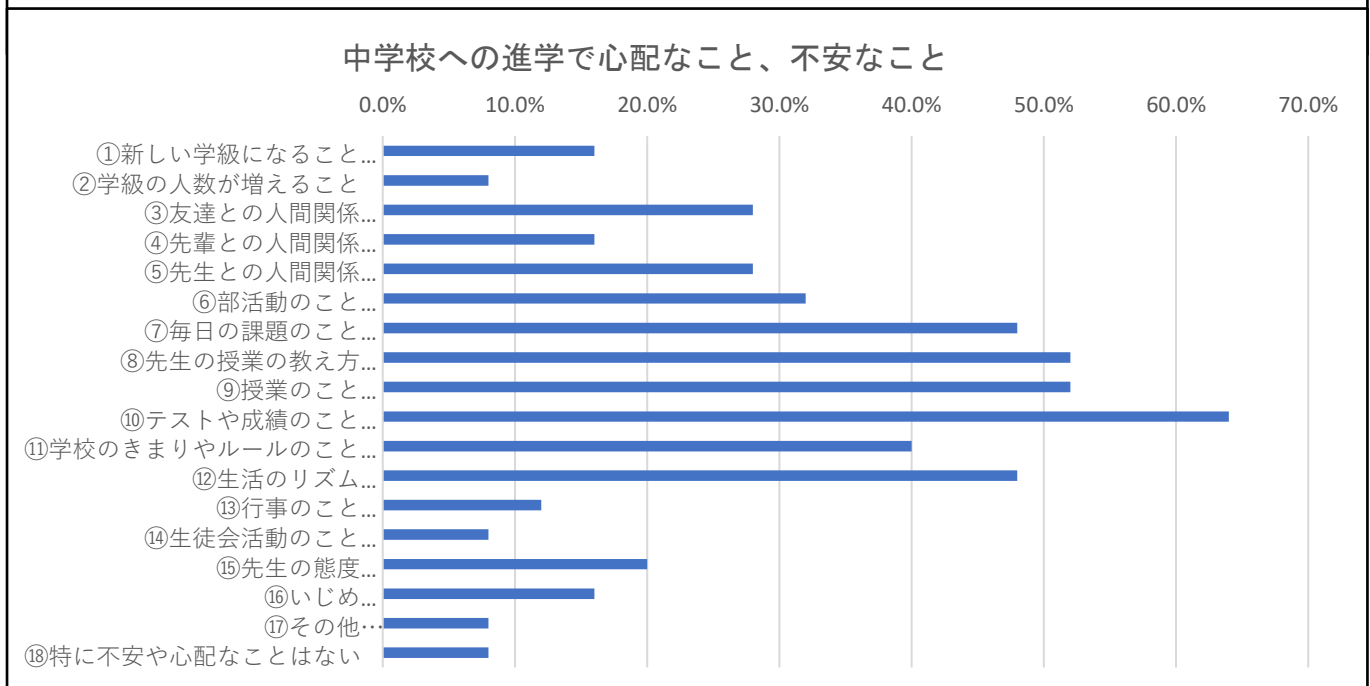
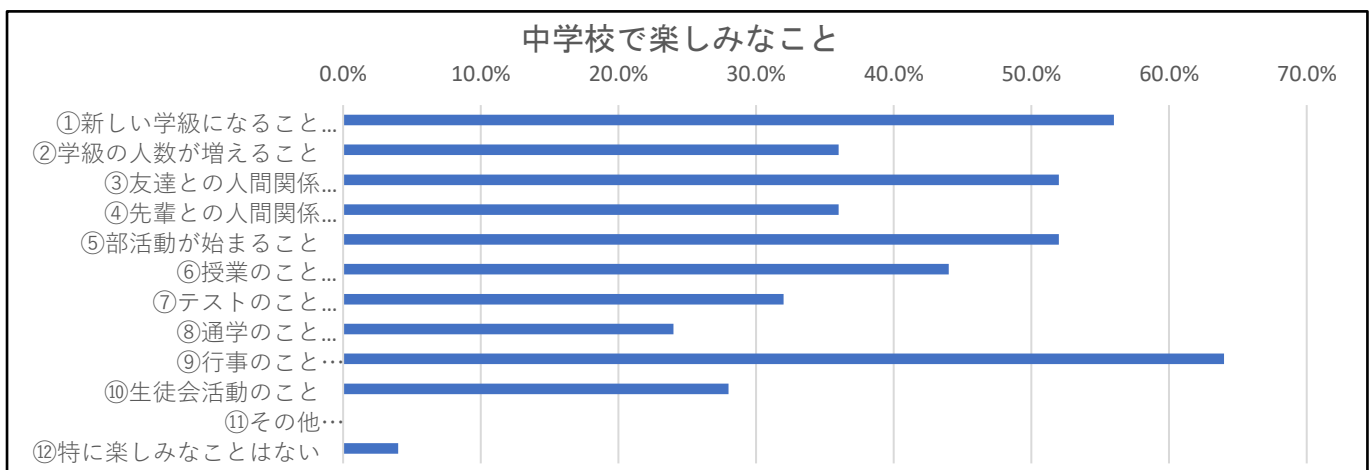
城崎小中一貫教育推進委員会
発行 3号
令和6年3月1日

城崎中学校区小中一貫教育の取組を通して ～児童生徒意識アンケート結果から～

「夢を持ち、ふるさとの未来を担う、城崎の子」を教育目標に、目指す子ども像を共有しながら9年間を通じて、子ども達が将来、心豊かで自立できる生きる力を育成する小中一貫教育を進めてきました。その中で小学6年生が城崎中学校へ進学する際に、円滑な接続となるような取組を行ってきました。「小中合同運動会」や「プロジェクトC」、「授業見学や授業体験、中学生による中学校生活の説明、部活体験等をするプレ登校」、「中学校教員による小学校への乗り入れ授業」等が主な取組です。

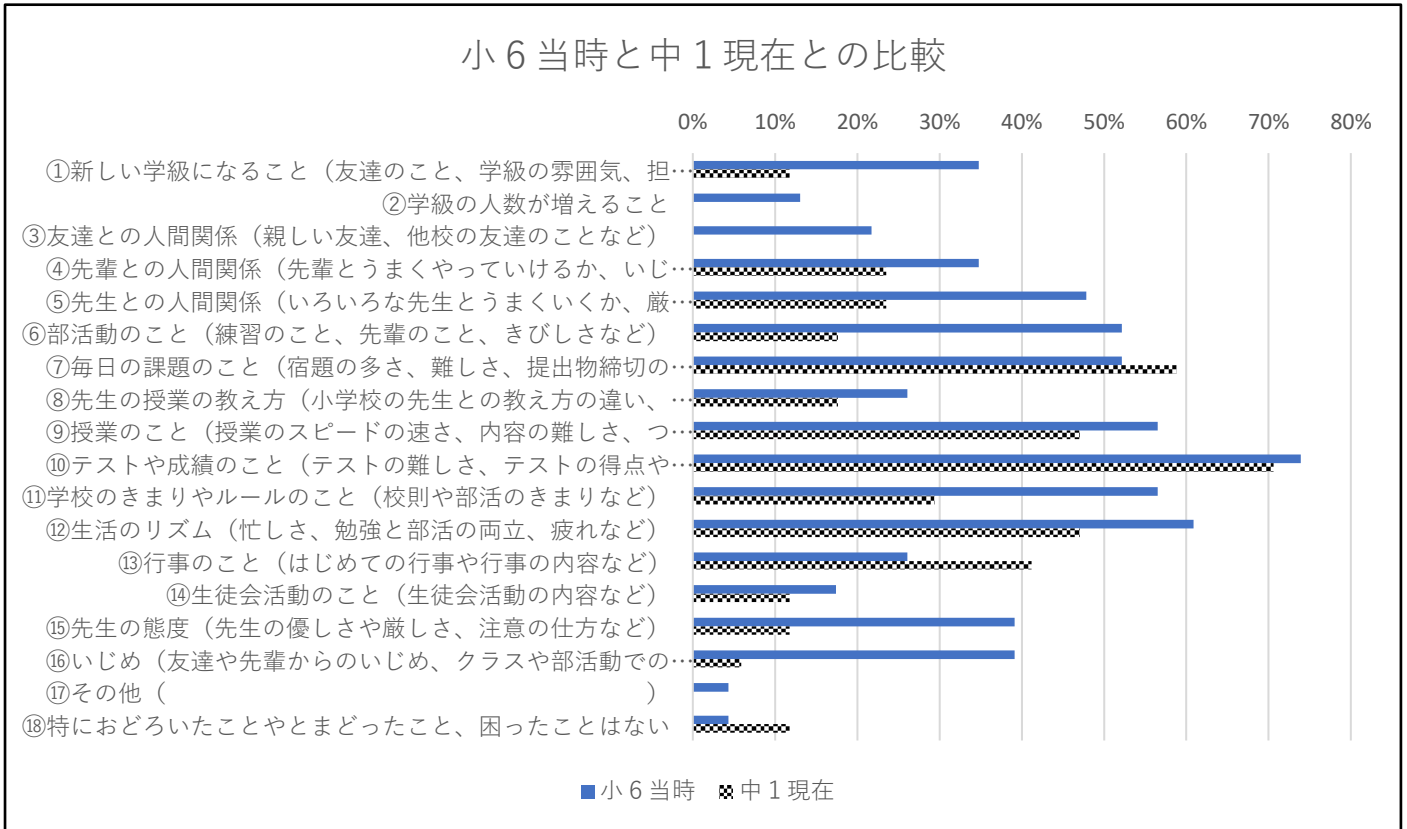
これらの取組を検証するために、児童生徒に意識アンケートを実施しています。その結果は下のとおりです。(複数回答可・数値は%)

<令和5年度 小学6年生>



令和5年度の小学6年生が、「中学校で楽しみにしていること」では、「行事のこと」「新しい学級・友達・担任の先生」「部活動が始まること」が上位になっています。「進学で心配なこと、不安なこと」では、「テストや成績のこと」「授業のこと」「先生の授業の教え方」と学習に関することが上位になっています。プレ登校や授業参観、乗り入れ授業等で少しでも緩和されることに期待しています。

次に令和5年度中学1年生（令和4年度小学6年生）が「驚いたり、戸惑ったり、困ったりしたこと」の回答結果と小学6年生当時の回答結果と比較して検証します。



18項目の内、11項目で小学6年生当時不安と回答した割合が中学1年生で不安と回答した割合より10%以上減少しています。「部活動のこと」「いじめのこと」「学校のきまりやルールのこと」は大きく減少しています。「部活動見学」(88%)、「中学校での授業体験」(71%)、「中学生（先輩や生徒会）の説明（学校紹介や先輩の体験談など）」(71%)が不安軽減に役立ったという回答が得られました。

しかし、「行事のこと」や「毎日の課題のこと」は小学生当時よりも中学生になって大変さを感じていることが伺えます。また、「テストや成績のこと」については小学生当時と変わらず不安に思っている生徒が約7割います。自分で課題を決め自主的に取り組む力をつけられるように小・中学校ともに取り組んでいきます。

小中一貫教育事業

2月13日（火）に中学校の先生による小学校での乗り入れ授業を行いました。国語と社会の授業で中学校の授業雰囲気を6年生が体験しました。



また、2月19日（月）に中学校へ進学することに対する不安の軽減や中学校生活の見通すために2回目のプレ登校を行いました。気体に関する理科の授業体験と中学生による学校紹介や中学校生活の説明がありました。